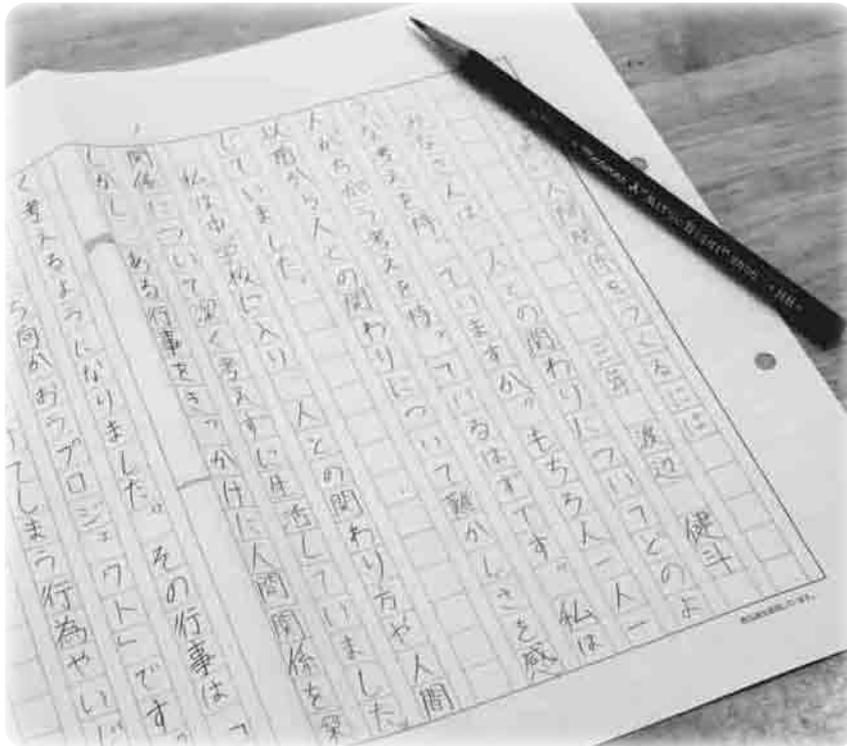


# みんなに伝えたい わたしたちの思い



中学生が日頃考えている意見や主張、普段の生活の中で感じる家族や仲間との絆などを発表する「関川中学校わたしの主張大会」が7月23日、関川中学校で開かれました。各学年から選ばれた代表6人が、6分以内という規定のなか、言葉一つひとつに心をこめ力強く発表しました。

審査の結果、村上・岩船地区大会（県村上地域振興局、村上市・岩船郡青少年健全育成会議主催）出場者に渡邊健斗さん（3年・上関）を選出。

渡邊さんは、8月17日に行われた同大会で発表し、優秀賞を受賞しました。

\*発表の概要は次のとおり。発表順。

バスケットボールの郡市大会前、最後の練習試合でぼくは怒られた。その理由も自分で分かっていた。パスのことだった。ある試合中ぼくはベンチに戻されて、先生にいろいろと指摘された。それから郡市大会までパスを意識して練習した。

そして、郡市大会当日、ぼくらは朝日中と平林中に負けてしまった。二日目は荒川中に勝って二回戦に進むことができた。その試合で先生にパスのことをほめられてとてもうれしかった。しかし、その試合は11点差で負けた。三年生はこれで引退となった。ぼくは三年生から「今までありがとう」と言われた。

自分はまだまだ甘いところがあり、チームに頼っている部分があるので、努力したところがきっちり出せる、頼られる存在になりたい。



齋藤大和さん  
(2年・下関)

努力はきつと…

みなさんは、ものを大切にしていますか。最近、ものを大切にしている人が増えてきています。わたしはそれが許せません。

しかし、わたしも以前はものを大切にできませんでした。ですが、ある時お小遣いを貯めて初めて音楽プレーヤーを買ったとき、「自分のもの」という気がして、とても嬉しかったのを覚えています。

それからわたしのものに対する見方や思いが変わりました。自分で買ったものの方が愛着がわいていいと思うようになりました。自分で買う以外にも、本当に欲しいものだけを買う、必要か考えて買うなど、ものを大切にする工夫はたくさんあると思います。みなさん、ものを大切にしていきたいでしょう。



高橋なつみさん  
(2年・上土沢)

ものを大切に

# 2013 関川中学校 「わたしの主張」大会



山崎 かほる さん  
(1年・下関)

## 大切な存在

私の家では、食事の時間はみんなそろって食べ始めることが当たり前になっています。家族そろって話のできる唯一の時間。その時間が私は大好きでした。

就職で姉が家を離れたため、一人いない食事の時間が始まりました。今までのようにうるさくありませんでした。姉が帰ってくると、また前のようになり楽しくにぎやかな食事になりました。このとき、誰か一人いないだけでもこんなに変わるのかと、一人の存在の大きさを実感しました。

このことから、みなさんにも身近な人の存在を改めて考えてほしいと思いました。その人との思い出や会話を振り返り、その人に心から「ありがとう」と言ってみてはどうでしょうか。



駒沢 愛 さん  
(1年・鞆江沢)

## インターネットが持つ「二つの顔」

みなさんは、インターネットにどんなイメージを持っていますか。私は便利で楽しいものだと思います。しかし、それはネットの表の顔でした。

以前、私はネットでチャットをしていました。すると知らない人に突然ひどいことを言われてしまい、その言葉で私の心は傷つき、ネットをしばらくやりませんでした。

今のネット社会を考えると、何か事件が起きてもおかしくないような状況になっていきます。しかしインターネットのない時代に戻ることもできません。だから私は危険性をよく分かったうえで使うことが大切だと思います。ネットの良い点と悪い点。この二つの顔を忘れてはいけません。

この経験から「自分の意見を主張し、相手の意見も聞いて、よりよいものを協力して作ることが大切だ」と分かりました。このバランスがよい人間関係を築くうえで必要だと思いました。



渡邊 健斗 さん  
(3年・上関)

## よい人間関係を つくるには

私は以前から人との関わりに難しさを感じていました。中学校に入學してから、相手の気持ちを考えて行動する大切さを学び、相手の思いを優先していました。しかし、納得できないものを感じ、それは相手の言いなりになっているだけだと気付きました。

そこで自分の意見を隠さず相手に伝え、自分の気持ちを理解してもらうことを心掛けました。その結果、今までよりも良いアイデアが浮かんできました。

この経験から「自分の意見を主張し、相手の意見も聞いて、よりよいものを協力して作ることが大切だ」と分かりました。このバランスがよい人間関係を築くうえで必要だと思いました。

僕は、一年生の体育祭の係決めで式典実行委員を希望していたのですが、いろいろな事情で応援係になりました。初めは嫌だと思っていました。その仕事をやっていくうちにどんどん楽しくなりました。そして、僕は三年間、体育祭の応援係になり、最高学年の今、応援団長を務めています。



川又 光流 さん  
(3年・鮎谷)

## 中学校生活を 楽しんで

僕は、一年生の体育祭の係決めで式典実行委員を希望していたのですが、いろいろな事情で応援係になりました。初めは嫌だと思っていました。その仕事をやっていくうちにどんどん楽しくなりました。そして、僕は三年間、体育祭の応援係になり、最高学年の今、応援団長を務めています。

このように嫌だと思っても、やってみると思いもよらない楽しさに出会えるかもしれません。そうでなくても、ポジティブ思考であれば、そのどこかにきつとある楽しみを見つければいいと思います。僕はこれからは嫌なことがあったとしても避けて通らず、進んで飛び込んでいこうと思います。僕は残りの中学校生活をこのように楽しんで過ごしていこうと思います。

僕は、一年生の体育祭の係決めで式典実行委員を希望していたのですが、いろいろな事情で応援係になりました。初めは嫌だと思っていました。その仕事をやっていくうちにどんどん楽しくなりました。そして、僕は三年間、体育祭の応援係になり、最高学年の今、応援団長を務めています。